

地域で「無駄遣い」を
してもらいたい

鈴木 本庄MEET&TALK※のときに松浦さんが商店街で無駄遣いしてほしいとおっしゃっていたのが非常に印象的でした。どういう意図での発言だったのか、教えていただけますか。

松浦 そうですね、地方の観光地に行くが無駄なものをついつい買ってしまうと思います。でもそういった無駄なものを買おうとするとすごく楽しいんですよ。旅先と同じように市外から来た方や、市内の方が商店で買い物をするときに、「あつ、これもついでに買っていいこうかな」って何十円でも何百円でもいいので無駄使いをしてもらいたいな、と思っています。

何しろより多く買ってもらうとお店って長く継続できないので、なるべくたくさんの方に来てもらって、無駄遣いを楽しんでもらいたいと思います。

鈴木 無駄な物を買う時がすごく楽しいとおっしゃっていたのが印象的でした。

消費側からすると、今って買い物も利便性ばかりが重視されがちです。そういう買い物ってちっとも楽しくない。お金と物をただ交換しているだけということで、本来の買い物の楽しさが失われている気がします。だから、ふらっと歩いてくだらないものを買ってしまうくらいが本当に楽しいのだと思います。まさに「無駄」っていうのは現代社会にすごく必要なことで、それは地域でこそ取り戻せるものだと思います。

自分のお金をどう使うか考えたときに、**地域にお金を残すことは地域にお店が残るということ**なので、本当に無駄かという点で決断して無駄ではないと思います。これからは無駄遣いの良さをもっと伝えていければいいですよ。

鈴木 それぞれのマーケットがそれぞれの魅力や意義を持っているということですね。

出牛 市内のマーケットは、それぞれに特色があるのが良いなと思います。

※ solFlows (ソルフローズ) 児玉町児玉の花屋さん。花だけでなくグリーンや雑貨、カフェも併設。経営されている大澤さん夫婦は地元を盛り上げるために「だま市」「だまフェス」などのマーケットを開催。

地域にお金を
残すことで
地域にお店が残る。



主催者自身が
その場（マーケット）を
楽しむことが大事。



マーケットは
ゆるやかな
「つながり」



商店街で
無駄遣いを
して欲しい。



地域の中で、マーケットが果たす役割とは？

鈴木 難しい質問だと思いますが、あらためて皆さんにとって「マーケット」とは？

出牛 マーケットは一言でいうとゆるやかな「つながり」だと思います。さまざまな店舗が連なり活気にあふれた、かつての商店街の良さ、その良さをマーケットで取り戻せるのではと感じています。昔商店街が担っていた役割を今はマーケットが担っている側面はあると思います。

松浦 そういう意味で、私はマーケットとは「地域コミュニティとしての役割を果たすもの」のかなと思っています。

鈴木 約30年ぶりの七夕まつりの復活がまさにそうですね。商店街に何本か七夕の飾りを出してみたらみんな喜んでくれたから、次の年も出してみようとなって、じゃあ一緒に氷柱も出してみよう、となって、一つひとつが成功していく中で七夕まつりが復活しました。

山田 一言でいうのは難しいですが、私は**トライ&エラー**だと思います。これは他の地域に通じるわけではないけれども、小さい成功体験の積み重ねがこのまちのマーケットを形作っていると思います。

鈴木 失敗してはいけない風潮って本当によくないと思います。その中で、他の地域と比べても本庄市はチャレンジができるいい土壌があると思います。だからこそ、この数年間でマーケットの数も



出牛 市内でこれだけたくさんさんの特色あるマーケットが開催されていることは、行政としても一市民としても本当にうれしいです。

昨年からは、毎月市内のマーケットの開催状況をまとめた「本庄マーケットカレンダー」を作成して、発信しています。

市内の魅力あるマーケットは、ほぼ毎週末くらいの頻度で開催されています。ぜひこのマーケットカレンダーや次のページを参考に、主催者の想いに触れてから、マーケットに足を運んで、お買い物や店主さんとの会話を楽しんでみてください。

本庄マーケットカレンダー

市内で開催されているマーケット情報を市HPにてまとめて掲載しています。主催者の皆さんが、それぞれの想いをもって、日常を楽しくしてくれるマーケットを開催していますので、ぜひお買い物やお出掛けの参考にしてください。

instagram